

2024 食品工学応用技術勉強会第2回「環境配慮パッケージ技術」

目 的

本勉強会は食品企業の研究開発・設計・製造現場などで働く技術者を対象に、応用発展性のある新規技術や、より深く知識を身に付けたい技術や知識・情報について勉強する機会提供を目的とします。今年度の応用技術勉強会は関連するテーマを4回に分け、開催を企画しています。

第2回は、「環境配慮パッケージ技術」をテーマに勉強会を開催致します。

内容は、環境配慮を視点とした包装の機能化と環境問題に対する課題について、2022年東京パックでの情報収集調査の報告、具体的な環境配慮型パッケージの考え方と事例の紹介を行い、更に生分解性プラスチックの現状と展開について技術解説の講義を行います。

特 徴

- 1) 各回のテーマ・目的に即した内容およびプログラムを設定、より具体的に身近に勉強する機会とします。
- 2) 大学/企業から選ばれた講師陣が自ら精選してまとめた資料を基に、テーマに沿って、基礎理論から企業における実践事例や応用発展的な事例の紹介まで、丁寧に解説します。
- 3) オンラインにより気軽に参加でき、情報収集・勉強の場として継続的に開催を目指します。

開催要領 2024 応用技術勉強会第2回「環境配慮パッケージ技術」

- 1) 主 催： (一社) 日本食品工学会 インダストリー委員会
- 2) 日 程： 2024年9月10日(火) 13:00~17:50
- 3) 場 所： Zoom オンライン開催
- 4) 定 員： 50名 (定員になり次第、申し込みを締切ります)
- 5) 参加費： 学会会員 5,000円 非会員 7,000円
- 6) 問合せ先： 日本食品工学会事務所 食品工学応用技術勉強会担当 E-mail : office@jsfe.jp

プログラム

時間割	テーマ	講師
13:00~14:30	1. 包装の機能化と環境問題に対する課題 (2022年東京パック展示の調査/報告) ・内容製品の保護機能 (ロングライフ化、鮮度保持包装、包装製品の追跡機能) ・コミュニケーション機能 (携帯端末の利用、多言語への対応) ・プラスチックの再生再利用適性 (包装設計での配慮事項、ケミカルリサイクルの状況) ・SDGs 配慮の新しい包装の動き (Bio-based Polymers の利用、紙のバリア化、延伸技術と蒸着技術の組み合わせ)	日本包装コンサルタント協会 技術士 住本 充弘
14:40~16:10	2. 環境配慮型パッケージを巡る市場動向と最新の取り組みの紹介 ・国内外の市場動向 ・環境配慮型パッケージの具体事例 ・パッケージのCO2排出量の見える化、削減の取り組み ・パッケージの資源循環の取り組み	TOPPAN 株式会社 高澤 宇史
16:20~17:50	3. 高性能な生分解性バイオマスプラスチックの創製と海洋分解性評価 ・生分解性バイオマスプラスチックの課題 ・微生物産生ポリエステルの高強度繊維と伸縮性繊維 ・高分子多糖類を用いた高性能バイオマスプラスチック ・生分解速度制御と生分解開始機能 ・深海分解試験の結果	東京大学 岩田 忠久